

PRESENTATION

グリーン・スムーザー
～フードロスでSDGsを実現～

三森・大辻・根岸・眞家・山本



フードロスの主な原因



1

過剰除去



野菜の皮を厚く剥きすぎるなど食べられる部分まで捨ててしまうこと

2

直接廃棄



保管しておいた食品の消費期限切れなどで手つかずのまま捨ててしまうこと

3

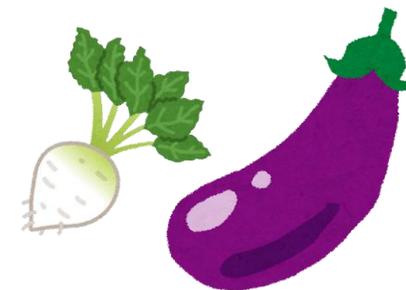
食べ残し



日頃の食生活や外食先での食べ残し

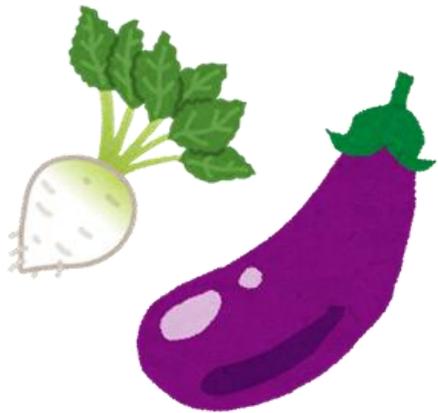
4

事業系食品ロス



傷がついていたり形が変形してしまったりした売り物にならない規格外品を廃棄してしまうこと

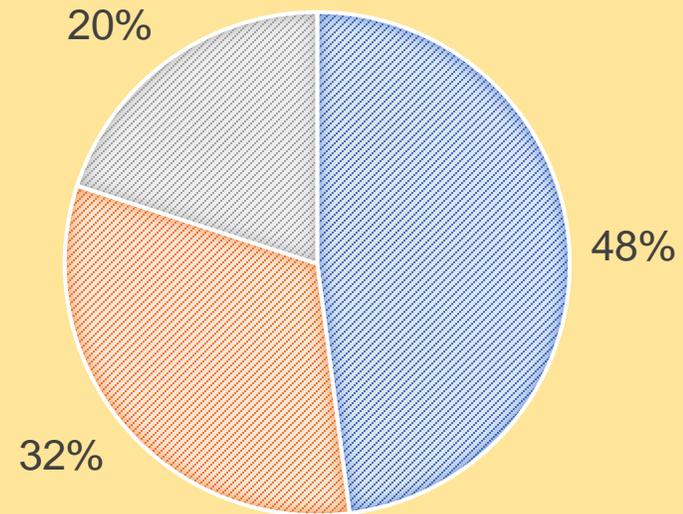
4 事業系食品ロス



傷がついていたり形が
変形してしまったりした
売り物にならない
規格外品を
廃棄してしまうこと

規格外農産物・食品の認知度

■ 知っていた ■ 知らなかった ■ 言葉は知っていたが、内容は知らなかった ■



※令和3年度食品ロスの認知度と取組状況等に関する調査

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/assets/consumer_education_cms201_220413.pdf

➤➤ 規格外農産物・食品について知っているかを消費庁が調査したところ...

「知っていた」と回答した人が **48%**

「知らなかった」 **32.1%**

「言葉は知っていたが、内容は知らなかった」 **20%**

0 → 1 Zero to One



例えばスーパーマーケットに行った際陳列してある品物を見て

「この野菜は傷がついているから売れ残って廃棄されてしまうだろうな、買って帰ろう」

と考える消費者はどのくらいいるだろうか？

商品を購入するときできるだけ大きな野菜や新鮮な果物を選ぶのは当然のことである。

そして、もちろん廃棄をするのは自分たちではないため、
売れ残った商品が日頃どれだけ廃棄されているのかも知らない。

そこで今回提案するアクションプランは
直接的に小売店でのフードロス削減に繋がることに加え、
スーパーマーケットに訪れる消費者に
小売店でのフードロスについて理解を深めてもらうことにもつながる提案である。

グリーン・スムージー ～フードロスでSDGsを実現 ～

「グリーン」は環境に優しいことや持続可能性を示す言葉であり、
食品廃棄物削減の重要性も示し
余った食材をスムージーにする私たちのプランにぴったりであると考えた。
食品廃棄物削減・健康増進・持続可能性への取り組みといった
SDGsの複数の側面と関連付けることができるタイトルである。



アクションプランのポイント

キッチンカーを使用して販売すること
運営費用を安く設定でき、
限られたスペースを使用するため内装費も
安くすることが可能である。

販売する商品のワンパターン化を防ぐ

季節や時間帯によって提供する商品を変える
冬には、トマトスープやポトフなど...
夏にはジェラートを販売する。

規格外品はスムージーとして作り変える

キッチンカーで販売することを考慮して
フードロス削減にも貢献することのできる
販売商品を考えてとき、規格外品の原型を留めずに
提供することができるスムージーが一番適している。

割引券制度を導入する

キッチンカーで商品を購入してくださった方には
ポイントカードや割引制度を設ける。
SDGsに対しての意識向上につながり
リピーターを獲得して
アクションプランがサイクルしていく

● キッチンカーを使用して販売すること



Smoothie

スムージーというロゴにSDGs要素を取り入れることで興味を持ってもらう

規格外品はスムージーとして作り変える

スムージーにするメリットとは？

規格外野菜
の
区別が付きづらい

すぐに飲める

野菜が苦手な
子供にも
飲みやすい

高齢者も
咀嚼しやすい

健康的

スイーツ感覚で
楽しめる



販売する商品のワンパターン化を防ぐ

200円



野菜・果物
スムージー

固定メニュー

250円



季節
スムージー

固定メニュー

350円



ジェラート

夏メニュー

200円



スープ

冬メニュー



割引券制度を導入する

商品を購入した人にポイントカードを配布



商品 1 つにつき 1 ポイント



ポイントカードはその日から 2 ヶ月間使用できる



5 個貯まると 5 %OFF ・ 1 0 個貯まると 1 0 %OFF



【1 回の買い物の合計金額から割引が可能】



アクションプランが達成に寄与するSDGs 5つ

2 飢餓を
ゼロに



スムージーの価格を本来のスムージーより安価に
貧困層や食品衛生環境の悪いところに販売し
栄養価の高い食品を安価な値段で提供することによってこのSDGsに貢献できる
健康的な食事の重要性を掲示して食品廃棄を減らすという教育からも
飢餓を減らす目標に貢献できる

3 すべての人に
健康と福祉を



余った食材を活用することで食品の無駄を減らし
同時に健康的な飲み物を提供できる
余った食材を使用しているため通常のスムージーの金額より安価になる
金額の面で購入を躊躇う人も健康的な飲み物が安価に購入可能になることで
地域の人々の健康が向上し福祉が向上していく



今回の企画のスムージーの提供には紙カップを使用する
プラスチックカップの利用を控えることで
プラスチックごみの削減に貢献し海洋を守る
この取り組みは海洋のプラスチック汚染を軽減する一歩となり、
海洋の健康を守ることに繋がる

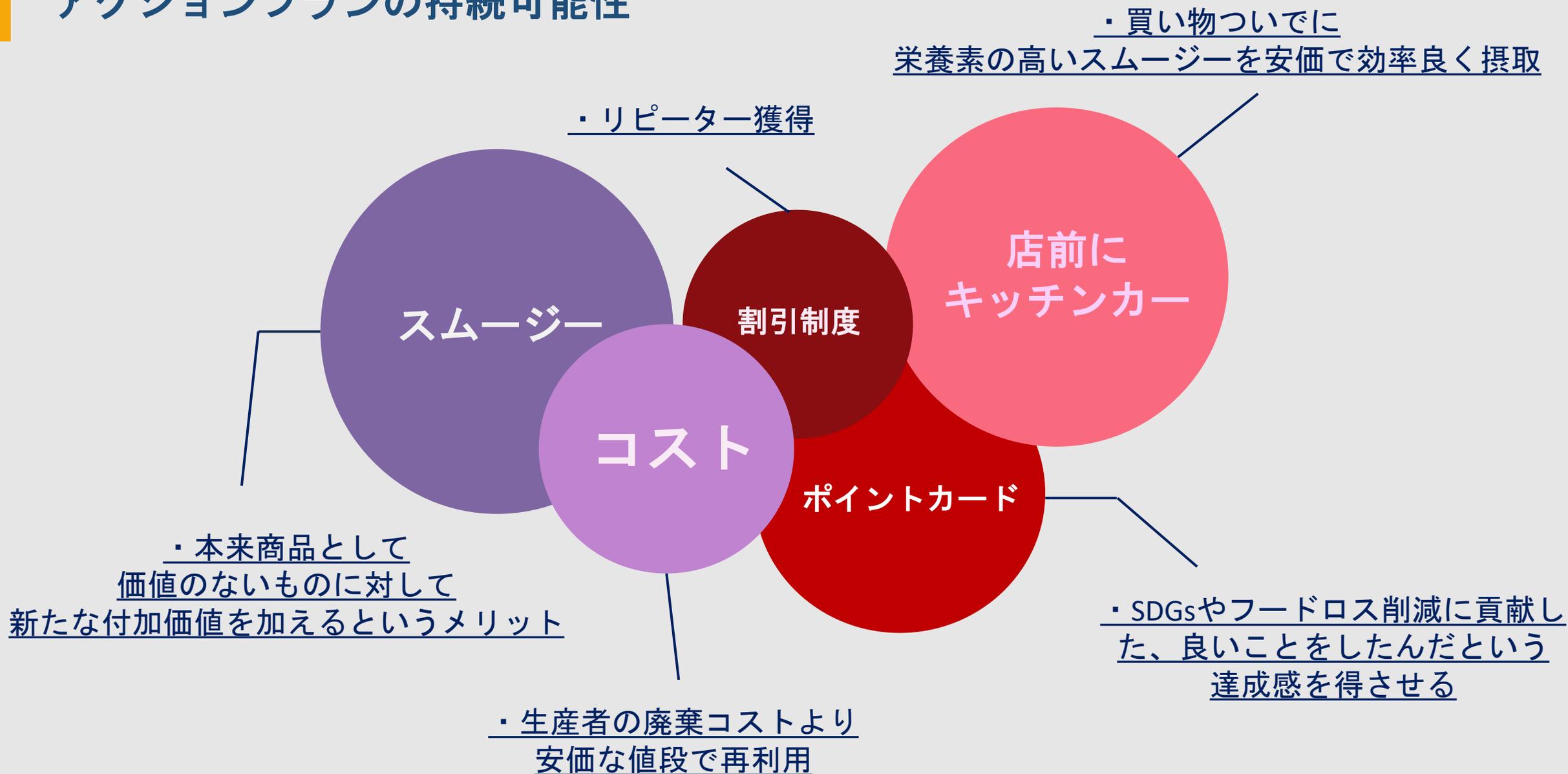


規格外野菜の廃棄を減らすことで、生ごみの排出量と共
に、間接的に二酸化炭素排出量を減少させることができ
る。
さらに、ごみの廃棄量が増加することによって
生態系の環境の破壊につながることから、
このアクションプランは陸の豊かさを守れると考える。



キッチンカーでの販売を通じて、地域と連携しSDGsに関する
アクションを起こすことで周囲を巻き込む。
そして、規格外野菜の商品の販売によって購買者への認知度を
高めていくことができる。

アクションプランの持続可能性



ご清聴ありがとうございました
